



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス

コード番号 5911 U R L <https://www.ybhd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務IR室長 (氏名) 中岡 康次

T E L 03-3453-4116

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	105,508	△8.5	8,631	5.0	8,653	8.2	5,896	△12.1
2025年3月期第3四半期	115,264	△7.9	8,220	△35.3	8,000	△37.2	6,708	△31.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 9,302百万円 (76.5%) 2025年3月期第3四半期 5,271百万円 (△52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	147.82	—
2025年3月期第3四半期	164.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	206,207	132,223	64.1	3,351.81
2025年3月期	216,179	129,091	59.7	3,229.02

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 132,223百万円 2025年3月期 129,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 110.00
2026年3月期	—	60.00	—		
2026年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	△0.2	12,000	△28.0	11,800	△27.6	8,100	△37.0	203.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：有 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	43,164,802株	2025年3月期	43,164,802株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	3,716,380株	2025年3月期	3,186,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	39,889,055株	2025年3月期 3Q	40,682,368株

(注) 自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として保有する当社株式を含めて記載しております。

(2026年3月期第3四半期末 401,727株、2025年3月期末 477,164株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. その他	12
売上高、受注高及び受注残高（連結）	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①受注高

橋梁事業につきましては、発注量が低調な厳しい受注環境が続く中、当第3四半期（2025年10月1日～2025年12月31日）においても首都高速道路・上部工補強1-402、西日本高速道路・皿池高架橋拡幅等の大型工事を受注することができましたが、当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における受注高は、過去最高を更新した前年同期からの減少は避けられず、547億9千万円（前年同期比25.5%減）となりました。

システム建築事業につきましては、中小案件の需要は依然として本格的な回復に至っておりませんが、受注高は上半年までの伸び悩みから持ち直しつつあり、312億1千万円（同0.3%増）となりました。また、受注面積につきましては45万m²（前年同期47万m²）となりました。

エンジニアリング事業につきましては、土木関連事業は大型案件を受注した前年同期から減少したものの、建築・機械鉄構事業で旺盛な需要を取り込み、受注高は166億6千万円（同1.0%減）となりました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の受注が伸び悩み、受注高は30億1千万円（同12.7%減）となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における受注高は1,056億9千万円（同15.4%減）となりました。

②経営成績

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は1,055億円（前年同期比8.5%減）、営業利益は86億3千万円（同5.0%増）、経常利益は86億5千万円（同8.2%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の売却益を計上した前年同期から減少し、58億9千万円（同12.1%減）となりました。以下事業別に記載いたします。

(橋梁事業)

橋梁事業につきましては、手持ち工事の状況から売上高は569億3千万円（前年同期比20.6%減）となりました。営業利益は62億5千万円（同8.6%減）となりました。

(システム建築事業)

システム建築事業につきましては、上半年に引き続き生産が順調に進捗し、売上高は328億7千万円（前年同期比8.3%増）となりました。営業利益は29億5千万円（同72.6%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、売上高は121億4千万円（前年同期比22.5%増）となりました。営業利益は設計変更の獲得により損益が改善し9億1千万円（同12.1%増）となりました。

(先端技術事業)

先端技術事業につきましては、当第3四半期は伸び悩みましたが、売上高は31億8千万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は2億7千万円（同85.7%増）となり、いずれも前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の連結売上高・受注高・受注残高 (億円)

			前第3四半期累計	当第3四半期累計
売上高	橋梁事業	新設事業	528	410
		保全事業	183	157
		海外事業	4	1
		小計	716	569
	システム建築事業		303	328
	エンジニアリング事業	土木関連事業	53	63
		建築・機械鉄構事業	45	58
		小計	99	121
	先端技術事業	精密機器製造事業	24	27
		情報処理事業	4	4
		小計	28	31
受注高	その他事業	不動産事業	4	3
	合計		1,152	1,055
	橋梁事業	新設事業	646	249
		保全事業	89	182
		海外事業	△1	116
		小計	735	547
	システム建築事業		311	312
	エンジニアリング事業	土木関連事業	104	66
		建築・機械鉄構事業	63	100
		小計	168	166
	先端技術事業	精密機器製造事業	29	25
		情報処理事業	4	4
		小計	34	30
受注残高	合計		1,249	1,056
	橋梁事業	新設事業	1,025	780
		保全事業	407	380
		海外事業	0	115
		小計	1,433	1,275
	システム建築事業		183	207
	エンジニアリング事業	土木関連事業	381	376
		建築・機械鉄構事業	64	95
		小計	445	471
	先端技術事業	精密機器製造事業	13	9
		情報処理事業	3	3
		小計	16	12
	合計		2,078	1,968

(注) 金額は単位未満を切捨てて記載しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ99億7千万円減少し、2,062億円となりました。流動資産は、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ142億7千万円減少しました。固定資産は、株価の上昇等に伴い「投資その他の資産」が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ43億円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ131億円減少し、739億8千万円となりました。その主な要因は、「短期借入金」や「支払手形・工事未払金等」が減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ31億3千万円増加し、1,322億2千万円となりました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上、「その他有価証券評価差額金」の増加、配当金の支払等によるものです。この結果、自己資本比率は64.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期連結業績予想につきましては、前回（2025年10月29日付け）公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金預金	16,832	23,075
受取手形・完成工事未収入金等	127,144	110,278
棚卸資産	3,445	3,913
その他	7,079	2,960
貸倒引当金	△7	△6
流动資産合計	154,494	140,221
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,143	15,143
その他（純額）	24,061	23,380
有形固定資産合計	39,205	38,524
無形固定資産	4,405	4,476
投資その他の資産		
投資有価証券	10,468	15,416
その他	7,625	7,567
貸倒引当金	△20	—
投資その他の資産合計	18,074	22,984
固定資産合計	61,684	65,985
資産合計	216,179	206,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,130	15,633
短期借入金	6,000	—
1年内償還予定の社債	3,100	1,000
1年内返済予定の長期借入金	8,400	16,000
未払法人税等	3,329	742
未成工事受入金	3,814	3,436
工事損失引当金	4,038	3,744
賞与引当金	2,656	1,632
その他の引当金	309	241
その他	4,718	3,707
流動負債合計	55,497	46,138
固定負債		
社債	1,000	—
長期借入金	16,000	11,500
株式報酬引当金	533	478
退職給付に係る負債	11,863	12,361
その他	2,194	3,504
固定負債合計	31,590	27,844
負債合計	87,088	73,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	9,910	9,910
利益剰余金	111,095	112,354
自己株式	△5,583	△7,115
株主資本合計	124,858	124,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,075	7,481
土地再評価差額金	157	157
その他の包括利益累計額合計	4,232	7,639
純資産合計	129,091	132,223
負債純資産合計	216,179	206,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	115,264	105,508
売上原価	98,142	87,400
売上総利益	17,122	18,108
販売費及び一般管理費	8,901	9,477
営業利益	8,220	8,631
営業外収益		
受取利息	3	21
受取配当金	290	316
持分法による投資利益	35	26
その他	100	131
営業外収益合計	429	495
営業外費用		
支払利息	170	284
コミットメントフィー	95	71
為替差損	221	—
前受金保証料	82	29
団体定期保険料	55	54
その他	24	34
営業外費用合計	649	474
経常利益	8,000	8,653
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	1,772	—
特別利益合計	1,777	1
特別損失		
固定資産処分損	14	25
投資有価証券売却損	—	21
特別損失合計	14	47
税金等調整前四半期純利益	9,763	8,606
法人税等	3,026	2,710
四半期純利益	6,736	5,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,708	5,896

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,736	5,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,464	3,406
その他の包括利益合計	△1,464	3,406
四半期包括利益	5,271	9,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,243	9,302
非支配株主に係る四半期包括利益	28	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(自社利用のソフトウェアの耐用年数の変更)

当社は、自社利用のソフトウェアの耐用年数を3年としておりましたが、2025年10月に基幹システムを再構築したことにより、当該基幹システムについては10年間使用可能であると判断し、当第3四半期連結会計期間において当該基幹システムに係るソフトウェアの耐用年数を10年とし、将来にわたり変更しています。

この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が96百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益が同額増加しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	システム 建築事業	エンジニア リング事業	先端技術 事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	71,672	30,366	9,909	2,893	421	115,264	—	115,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	71,672	30,366	9,909	2,893	421	115,264	—	115,264
セグメント利益又は損失 (△)	6,846	1,710	815	149	228	9,749	△1,528	8,220

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,528百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	システム 建築事業	エンジニア リング事業	先端技術 事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	56,930	32,878	12,140	3,185	373	105,508	—	105,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	56,930	32,878	12,140	3,185	373	105,508	—	105,508
セグメント利益又は損失 (△)	6,255	2,952	914	277	193	10,593	△1,962	8,631

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,962百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2025年5月14日に公表しました第7次中期経営計画において、グループの成長を牽引する事業としての位置づけを明確にし、情報発信の強化を図る観点から、「エンジニアリング関連事業」に含まれていた「システム建築事業」を独立させる等、報告セグメントを変更することとしました。

従来、当社グループの報告セグメントは、「橋梁事業」、「エンジニアリング関連事業」、「先端技術事業」、「不動産事業」としていましたが、第1四半期連結会計期間より、「橋梁事業」、「システム建築事業」、「エンジニアリング事業」、「先端技術事業」、「その他事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,173百万円	3,353百万円

3. その他

売上高、受注高及び受注残高（連結）

期 別	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
区 分	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)
売 上 高	橋梁事業	71,672	56,930	△14,741
	システム建築事業	30,366	32,878	2,511
	エンジニアリ ング事業	9,909	12,140	2,230
	先端技術事業	2,893	3,185	291
	その他事業	421	373	△48
	合 計	115,264	105,508	△9,755
受 注 高	橋梁事業	73,549	54,797	△18,751
	システム建築事業	31,134	31,219	85
	エンジニアリ ング事業	16,836	16,664	△172
	先端技術事業	3,449	3,011	△437
	合 計	124,968	105,692	△19,276
受 注 残 高	橋梁事業	143,317	127,580	△15,737
	システム建築事業	18,369	20,780	2,410
	エンジニアリ ング事業	44,547	47,190	2,643
	先端技術事業	1,658	1,280	△377
	合 計	207,893	196,831	△11,061

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。